

南茅部地区小・中学校統合準備委員会だより

令和3年2月25日発行 第8号
事務局 函館市立磨光小学校（63-2561）
函館市立尾札部中学校（63-2762）

南茅部地区小 中学校統合準備委員会では、南茅部小学校並びに南茅部中学校の教育目標等を、また、令和4年度に開校の小学校の校章のデザインと校歌の歌詞を次のように決定いたしましたのでお知らせいたします。

1 教育目標等

(1) 函館市立南茅部中学校

①校訓

自 他 敬 愛

②教育目標

函館・南茅部地域を愛し、自ら課題に挑み、未来を拓く生徒

(2) 函館市立南茅部小学校

①9年間で育成を目指す子供像（南茅部中学校 教育目標より）

函館・南茅部地域を愛し、自ら課題に挑み、未来を拓く子供

②教育目標

明るく かしこく たくましく

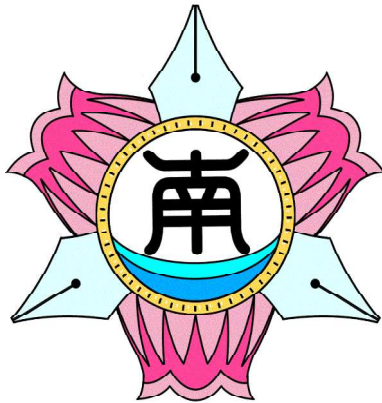
③教育目標で目指す具体の子供

明るく	かしこく	たくましく
○思いやりの心を持ち、仲よくしたり、協力したりする子 ○自分のよさをみつま、明るい心で生活する子	○学んだことを使い、ともに解決する子 ○自分の思いや考えをもち、よりよく表現する子	○目標をもって努力し、粘り強く取り組む子 ○体力を高め、健康で安全に生活する子

④重点教育目標

主体的に学び、新たな課題の解決に向かう「こころ」と「ちから」をもつ子供の育成

2 南茅部小学校 校章 デザイン



○ペンは常によき世界へと子供たちを導く言論の象徴であり、学ぶことを通して、見方、考え方を広げ、自分のよさを磨き上げることを意味する。3つのペンそれぞれは新しい時代を生き抜く子供たちに求められる『主体性』『創造性』『協働性』を表す。

○旧南茅部町の町花である『サラサドウダン』を配した。サラサドウダンツツジの花言葉は『明るい未来』。これからの子供たちの未来を照らすにふさわしい花。3つの花で『知』『徳』『体』を表し、地域と学校が共に教育を支える学校づくりへの願いを表した。

○『縄目模様』を円状に配することで縄文文化にふれ、悠久の時から連なる地域の発展を支えてほしいという願いを表した。また、地域を支えてきた豊かな水資源を保つため、次の担い手である子供たちに託す夢を『波』で表した。

○南茅部の「現在」(美しい自然, 豊かな水資源→**青い海, 波**), 「過去」(縄文文化, 旧南茅部町の記憶→**縄目模様, サラサドウダンツツジ**), 「未来」(希望, 学ぶ喜び→**学び: ペン**)で表しています。

3 南茅部小学校 校歌 歌詞

1

朝霧晴れて 見はるかす
海(みず)の遙かを 眺むれば
友に笑顔の 花開き
気高き心 響き合う
伸びゆく われらに
栄あれ

2

茜さす郷(ち)の 夕ばえに
太古の風を 身に受けん
清らかな教え 胸にして
未来(あす)への道を 拓こうと
はばたく われらに
光あれ

○校章のイメージとつながるように作成しました。

○校歌であることから、子供たちが4拍子の拍にのって歌いやすいように、七五調音で作詞しました。

○「海」を「みず」と読むことで、「南茅部の水資源(豊かな水, 川, 海 等)」へと、「郷」を「ち」と読むことで「故郷, 古里の地 等」というように、歌いながら思いを膨らませていくことができるように作詞されています。

○歌詞中に「見はるかす」とありますが、これは、「遠くまで見渡す」という意味を表します。

4 校歌の作曲について

南茅部小学校, 南茅部中学校とも, 函館在住の作曲家で函館音楽協会会員の山本和生(やまもと かずい)氏に, ご依頼することと決まりました。